



上砂川町まち・ひと・しごと創生

# 人口ビジョン・総合戦略 (概要版)



北海道 上砂川町

# まち・ひと・しごと創生について

## 国による「長期ビジョン」 「総合戦略」の策定

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して将来にわたって活力ある社会を維持していくことが喫緊の課題となっています。

このため、国民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成することを目的に、まち・ひと・しごと創生法が制定されました。

政府は法の制定に伴い、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をそれぞれ閣議決定し、まち・ひと・しごと創生に総合的に取り組むこととしました。

## 地方公共団体による「地方人口ビジョン」 と「地方版総合戦略」の策定

地方公共団体において、国の長期ビジョン及び総合戦略を勘案しつつ、平成27年度中に地方版「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定するよう求めました。

## 上砂川町のまち・ひと・しごと創生 について

上砂川町では、平成27年4月町長を本部長とする「上砂川町まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、更には幅広い層の意見が反映されるよう産業界・行政機関・教育機関などで構成する「上砂川町総合戦略策定委員会」を立ち上げ、人口の現状と将来の展望を提示する「上砂川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（以下、人口ビジョン）」と、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「上砂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」を策定することとしました。

# まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(1)

## ◆人口ビジョンとは

人口ビジョンは、人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもので、効果的な施策を企画立案する総合戦略を策定する上で重要な基礎資料となるものです。

□ 対象期間は、国の長期ビジョンの期間2060(平成72)年が基本となりますが、上砂川町は、国立社会保障・人口問題研究所※1の推計期間である2040(平成52)年とします。

※1 人口・経済・社会保障の相互関連についての調査研究する厚生労働省の機関

## ◆人口減少社会の到来

### (1)日本の現状

- ・合計特殊出生率※2は1970年代後半以降急速に低下し、人口減少が2008(平成20)年から進み始めました。ピーク時で1億2,800万人いた人口は国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の推計では2060(平成72)年に約8,700万人になると見込まれています。

### (2)北海道の現状

- ・ピーク時には約570万人いた人口も全国よりも約10年早く人口減少局面に入り、現在は550.6万人となり、推計では2060(平成72)年に308万人にまで減少すると見込まれています。

※2 女性が出産可能な年齢を15歳から49歳までと規定し、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す

# まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(2)



Kamisunagawa town  
北海道上砂川町

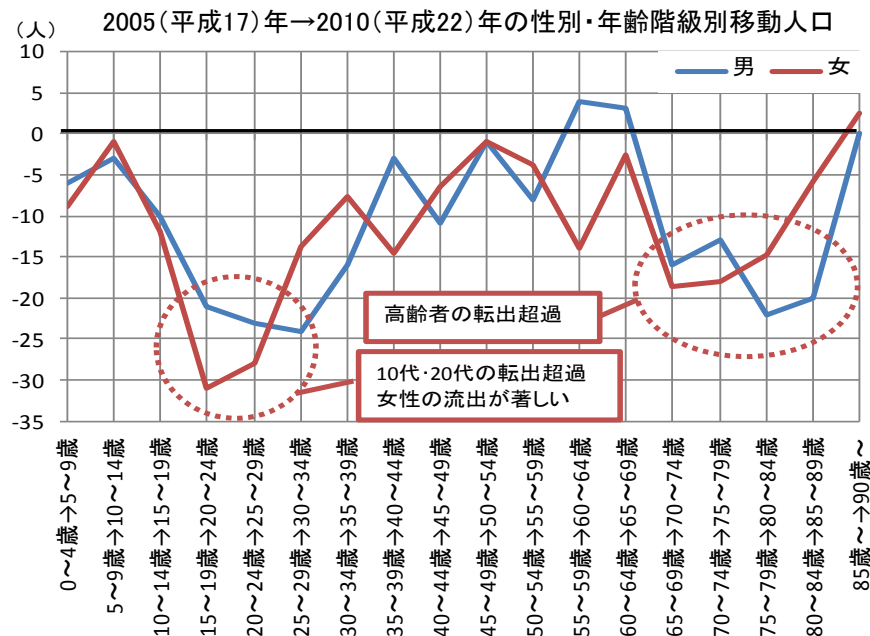
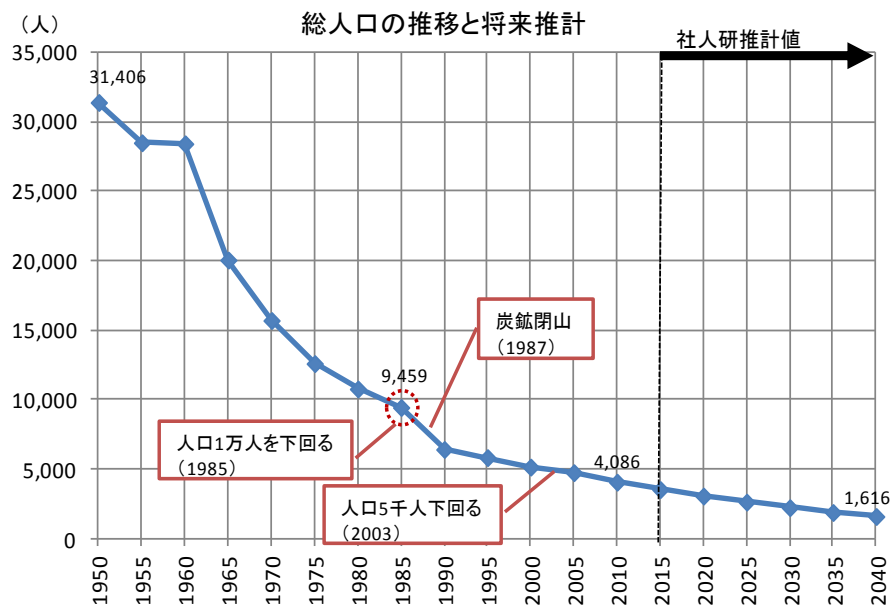
## ◆上砂川町の人口動向分析

### (1) 総人口の推移と将来推計

町の総人口は1950(昭和25)年31,406人でしたが、1985(昭和60)年には1万人を割り込みました。社人研の将来推計では、2040(平成52)年には1,616人となると予測されています。

### (2) 性別・年齢階級別の移動人口の状況

15～24歳の若年層の大幅な転出超過となっており、これは高校や大学等への進学に伴う転出が主たる要因と考えられます。



# まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(3)

## ◆人口の将来展望

### ○現状と課題

総人口は、2014(平成26)年には3,630人まで減少し、出生数が死亡者数を下回る自然減で推移し、転入者数が転出者数を下回る社会減で推移しています。

「出生率の上昇」と「社会動態の改善」が、人口減少の抑制に大きく影響します。

### ○めざすべき将来の方向

- 1 交流人口を増やし、人口流出に歯止めをかける
- 2 「出生率向上」のため、安心した子育て環境を提供する
- 3 活き活きと健康に暮らし高齢者が活躍できる社会づくり
- 4 元気な産業と安定した雇用の創出
- 5 公共施設の活用・整備

## ◆目標の設定

### \*合計特殊出生率

- ・現在の1.38から、2025(平成37)年に1.60、2040(平成52)年に国民希望出生率である1.80まで上昇させることを目指します。

### \*純移動率

- ・49歳以下の世代について、転出超過数の30%減少、転入超過数の30%増加を目指します。
- ・50歳以上の世代について、転出超過数の20%減少、転入超過数の20%増加を目指します。

人口の将来展望  
2040(平成52)年

**1,900人** の確保  
社人研に比べ約300人の増加

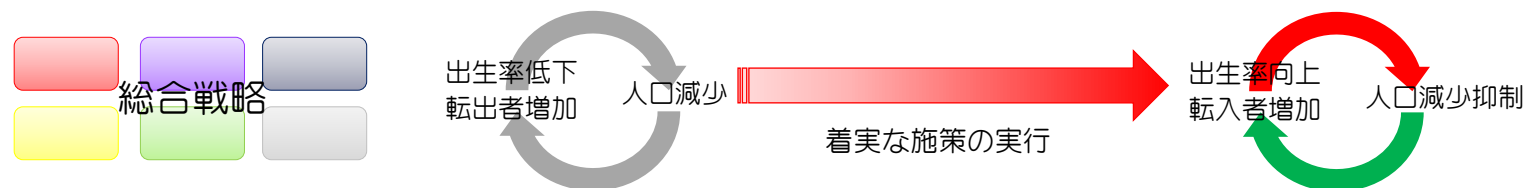


# まち・ひと・しごと創生総合戦略(1)

## ◆総合戦略策定の趣旨

町では人口減少の進行に少子化、若者・子育て世代の流出が拍車をかけ、更なる人口減少を招く「縮小スパイラル」に陥っており、人口減少への対応は待ったなしの状況に直面しています。

町がこうした人口減少問題に対応していくためには、出生率の向上による自然動態の改善と、移住・定住人口の増加による社会動態の改善により人口減少に歯止めをかけ、人口構造の若返りを図るため、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策と客観的な指標を定めます。

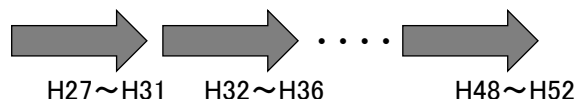


## ◆総合戦略の期間

2015(平成27)年度から2019(平成31)年度までの5年間とします。

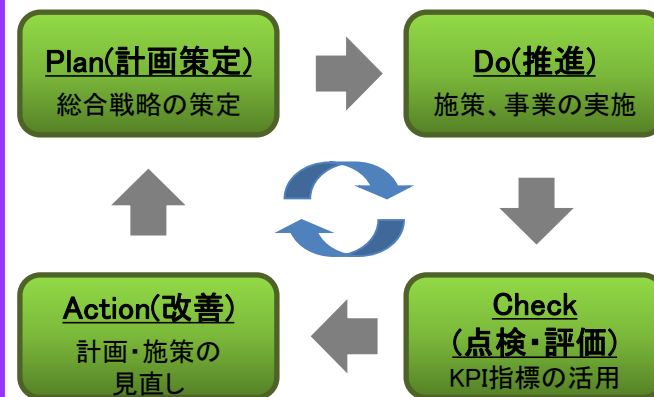
人口ビジョン → 2040(平成52)年

総合戦略



総合戦略は、施策の効果を客観的に検証できる指標(重要業績評価指標:[KPI/Key Performance Indicator])を定め、計画の検証にあたっては、「計画策定(Plan)、推進(Do)、点検・評価(Check)、改善(Action)」の仕組みを構築し、定期的に検証。

PDCAサイクルによる検証のイメージ



# まち・ひと・しごと創生総合戦略(2)

## ◆重点戦略プロジェクトの設定

国の総合戦略及び上砂川町人口ビジョンに加えて、オール上砂川町で推進していくことを念頭に置き、上砂川町総合戦略策定委員会及び部会意見、町民アイディア、町民アンケート結果を踏まえて、5つの重点戦略プロジェクトを設定し、目指すべきまちの将来像を実現します。

### 5つの重点戦略プロジェクト

①

#### 人と人との交流・ふれあいプロジェクト

交流人口を増やし、転出超過に歯止めをかけることを目指すもの。

②

#### 健やか子育て・教育支援プロジェクト

子どもを産み育てやすい環境づくりを目指すもの。

③

#### 活き活き健康・活躍支援プロジェクト

町民が健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを目指すもの。

④

#### 元気な産業・雇用支援プロジェクト

安定した雇用の創出と若者が働きたいと思える就業環境づくりを目指すもの。

⑤

#### 公共施設の活用・整備プロジェクト

将来にわたり安全・安心な公共施設の提供を目指すもの。

オール上砂川町で  
各種施策を推進

### 目指すべきまちの将来像

より多くの人が生涯にわたり  
安心して暮らせるよう町民  
みんなで取り組むまち  
くかみすながわ

# 総合戦略～重点戦略プロジェクト①

## ◆人と人との交流・ふれあいプロジェクト

町内外の人々に上砂川町の魅力が感じられる様々な機会を提供し、交流人口の増加により将来の定住人口に転換するために必要な環境整備を進めます。

町内外からの人々が日常的に集える交流カフェの開設や美味しい「水」を活用した事業、プレミアム付宿泊券発行事業助成により、交流人口の増加と町内消費喚起を図ります。

また、町営住宅料の軽減や個人住宅のリフォーム助成、民間賃貸住宅建設への助成などにより移住・定住の促進を図ります。



### 具体的な施策

- 観光・イベントの振興
  - ・インターネット環境の整備
  - ・地域おこし協力隊の拠点づくり
  - ・地域活性化プロジェクト
  - ・プレミアム付宿泊券発行事業助成 など
- 移住・定住の推進
  - ・移住体験ハウスの整備
  - ・町営住宅料の軽減
  - ・リフォーム助成
  - ・民間賃貸住宅建設費助成 など

### 数値目標(H31)

- 転出超過数～85人／年 →→ 60人／年
- 20～30代世帯の移住数～15世帯(3世帯／年)

美味しい水で育った虹鱒の燻製(左)  
町内最大イベント仮装盆踊り・花火大会(右)

# 総合戦略～重点戦略プロジェクト②

## ◆健やか子育て・教育支援プロジェクト

魅力的な子育て環境、教育環境づくりを推進し、結婚・妊娠・出産・子育てから教育に至る切れ目のない支援と地域で子育てできる仕組みづくりに取り組めます。

具体的には、不妊治療助成や超音波撮影を拡大した妊婦健診、新たに就学前の子どもに充実した幼児教育と安心した保育を提供する認定子ども園を開設し、地域の子育て交流拠点として子育て支援をワンストップで実施します。

学校教育においては、ICT教育の導入や近隣大学との連携、民間塾講師の活用などにより、特色ある学習環境の整備と学力の向上を図ります。



### 具体的な施策

- 子育て世帯への経済的支援の充実
  - ・妊娠・出産応援事業
  - ・奨学金制度の拡充
  - ・保育料の軽減 など
- 子育て支援事業の充実
  - ・認定子ども園等 複合施設の開設
  - ・乳幼児健診事業
  - ・おひさまル〜ム事業 など
- 学校教育の推進
  - ・ICT教育の推進
  - ・近隣大学との連携
  - ・民間塾講師の活用
  - ・学力向上アクションプランの策定
- 社会教育の推進
  - ・地域おこし協力隊によるスポーツ支援 など

### 数値目標(H31)

- 合計特殊出生率～1.38人 →→ 1.53人

保育園収穫祭(左)  
「上砂川町をもっと元気にしようプロジェクト」小学生からの提案(右)

# 総合戦略～重点戦略プロジェクト③

## ◆活き活き健康・活躍支援プロジェクト

魅力的な高齢者支援の実現を図るため、各種健診や健康づくり事業、高齢者支援事業により生涯にわたり町民の健康増進と社会参加を推進します。

具体的には、除雪サービスや住宅のバリアフリー改修費用の助成など高齢者施策・福祉サービスを継続し、新たに通院・買物等の利便性向上のため町内巡回バス運行を検討するとともに、地域おこし協力隊の拠点である交流カフェの一角に高齢者が気軽に立ち寄れるサロンを開設して、高齢者の困りごとや悩みをサポートする「猫の手（ご用聞き）サービス」を実施します。



敬老会

### 具体的な施策

- 高齢者施策の充実
  - ・町内巡回バスの運行
  - ・高齢者生きがいサポート事業
  - ・敬老祝品贈呈事業
  - ・福祉灯油助成事業 など
- 福祉サービスの充実
  - ・緊急通報装置整備事業
  - ・「救急医療情報キット」配布事業 など
- 生きがいづくりと社会参加の促進
  - ・高齢者と園児等の交流事業
  - ・生きがい関連事業 など
- 各種健康対策の充実
  - ・高齢者インフルエンザ予防ワクチン接種費用助成
  - ・生活習慣病予防事業
  - ・全世帯無料入浴券配布事業 など

### 数値目標(H31)

- 健康寿命の延伸～男性72.21歳 →→ 76.82歳  
女性82.32歳 →→ 83.06歳

# 総合戦略～重点戦略プロジェクト④

## ◆元気な産業・雇用支援プロジェクト

世界的企業が立地しているので、既存企業の育成・支援を図るとともに、新たな産業創出につなげ(雇用=しごとづくり)、その結果社会移動が改善し(ひとの流入)、商業などまちが活性化するという好循環に変えていく必要があります。

具体的には、企業立地優遇制度の拡充を図るとともに、水耕栽培やLED農業等を地域おこし協力隊等の活用により展開し、北海道と連携して特産品の開発から流通に至る6次産業化を目指します。

また、開業(起業)に対する助成や空き家を活用したサテライトオフィスの誘致、企業の従業員や温泉入浴客、住民の買い物対策として、コンビニを誘致します。

### 具体的な施策

- 新産業の創出
  - ・第1次産業の創出
  - ・新規開業(起業)支援事業
  - ・空き家を活用したサテライトオフィスの誘致
  - ・広域連携の推進
  - ・企業立地優遇制度 など
- 商業の活性化
  - ・コンビニエンスストアの誘致
  - ・プレミアム付商品券発行事業助成
  - ・中小企業融資利子等補給事業
  - ・商工会議所主催事業に対する助成 など

### 数値目標(H31)

- 町内事業所従業員数～789人 →→ 850人



「地域生活訓練センターこころ」が栽培する椎茸(左)  
マイクログラス株式会社 北海道工場(右)

# 総合戦略～重点戦略プロジェクト⑤

## ◆公共施設の活用・整備プロジェクト

公共施設の集約・更新や遊休地・遊休施設の活用に関わる公共施設等総合管理計画の策定・推進により、公共施設ストック・マネジメントの適正化を進めるとともに、町営住宅などを戦略的に活用しながら、若者・子育て・高齢者の各世代のライフステージに応じて定住化促進を図っていく必要があります。

具体的には、各世代に応じた町営住宅（子育て支援住宅、シルバーハウジング）の供給や遊休地を活用した分譲地整備のほか、民間空き家等を活用した二地域居住情報の提供を行います。

### 具体的な施策

- 住環境の整備
  - ・ 住環境の整備
  - ・ 分譲地の整備
  - ・ 空き家を活用した住宅の整備
  - ・ 公共施設等総合管理計画の推進
  - ・ 住宅マスタープランの推進
  - ・ 道路ストック安全点検 など

### 数値目標(H31)

- 公共施設維持管理費～1割削減



鶉本町第2期分譲団地(左)  
町民センター(右)